

第6回奈良県こども・子育て推進本部会議

議事概要

こども・女性課

○日 時：令和6年11月19日（火）13：00～13：30

○場 所：県庁5階 第一会議室

○参集者：別紙のとおり

○一部非公開

<知事挨拶>

- ・本日は、主に「令和6年度こども・子育て施策への意見付与に対する取組状況」と「令和7年度のこども・子育て施策（案）に対する評価結果等」について報告を行う。
- ・みなさまから忌憚のない意見・質問をいただき、こども・子育て施策が全庁を挙げて有効な取組となるようご協力をお願いする。

<意見交換>

中島総務部次長：

※「ジェンダー平等推進プロジェクトチームにおける実態調査結果について」の総務部所管分について

（内容）

今年6月、県庁の働き方・職場環境改革推進会議の中に「ジェンダー平等推進ワーキング・グループ」を設置し、議論を進めている。

意識調査において、アンコンシャス・バイアスやジェンダーギャップを感じている職員がいることが確認されたので、この問題を意識して取組を進めていく。その一環として、今年度より管理職向け研修を実施し、職員一人ひとりが自らの能力を最大限発揮できる職場環境を目指し、引き続き取り組んでいきたい。

大石教育長：

※「ジェンダー平等推進プロジェクトチームにおける実態調査結果について」の教育委員会所管分について

（内容）

教育現場は、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスを「感じたことがない」者の割合が、県職員、市町村職員と比較して大幅に高い。これは、たとえば人権教育など、さまざまな場面で教職員がこどもを指導する立場にあるので、それが数値として表れているのだと思っている。

一方で、この割合が高いということは、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスについての感度が高いとも言える。

今後、研修等を通して、目指すべき職場環境をつくるべく指導を行っていきたい。

奈良産業部次長：

※「ジェンダー平等推進プロジェクトチームにおける実態調査結果について」の産業部所管分につ

いて

(内容)

回答者数が非常に少なかったので現状をどこまで表しているか評価が難しいというところではあるが、企業ではジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスを「感じたことがない」者が低いという結果が出ている。

産業部の施策として、育児・介護との両立や仕事と家庭の両立など、柔軟かつ多様な働き方を推進し、良質の雇用環境整備に取り組んでいる県内企業を「奈良県社員・シャイン職場づくり推進企業」として登録している。さらに、登録企業の中から、取組内容が優れている企業に対して表彰を行っている。

また、柔軟な働き方に関していえば、多様な正社員制度の導入、テレワークの導入推進、業務の効率化など働き方改革への意欲が高い企業への専門家を派遣する伴走型支援を行っている。

こうした施策を通じて、多様な働き方の導入を支援していきたい。

西村副知事：

(内容)

「ジェンダー平等推進プロジェクトチームにおける実態調査結果」について、実態把握を行っていただき感謝申し上げます。

「こども・若者への意見聴取」について、県はこども・若者向け施策を多数行っているにもかかわらず、そういった次世代の当事者から直接意見を聞く機会がこれまでなかった。こどもまんなかクラブは、そういった反省を踏まえての制度である。こども・女性局はもちろん、その他の部局においても活用していただき感謝申し上げます。今後も積極的に施策に取り入れていただきたい。

また、こども・若者委員の選任について、こども家庭庁から委員会への出席を求められるなど、高い評価をいただいている。このような取組を継続して行っていただきたい。

<知事総括コメント>

- ・「令和7年度のこども・子育て施策（案）に対する評価結果等」について、令和6年度と比べて事業数が26増加し、各部局の積極的な姿勢が伝わってきてうれしく思う。また、評価についても、A評価が27増加し、C評価が1減少するなど、量だけでなく質の面においてもブラッシュアップされてきている。このように、質、量ともに各部局の取組が進められていることに対して感謝申し上げます。
- ・「ジェンダー平等推進プロジェクトチームにおける実態調査結果」だが、教育現場ではジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスを「感じたことがない」者の割合が相対的に高い。この点から見れば、教育現場は取組が進んでいると考えられる。知事部局は教育現場から学ぶべきこと、参考にできることが多々あると思う。
- ・他方、サンプル数が少なく参考になるかわからないといえども、企業では「感じたことがない」者の割合が非常に低い。企業のほうが男女の性差に基づく役割分担意識が高いと思われるので、引き続き取組を推進していただきたいと考えている。
- ・「こども・若者への意見聴取」について、こどもまんなかクラブを利用していただいていることについて感謝申し上げます。
- ・奈良県が行っている「こども・若者への意見聴取」の取組が、他の都道府県と比べて先進的であるということでこども家庭庁から評価をいただいているのはたいへんうれしく思っている。
- ・「ジェンダー平等推進」及び「こども・若者への意見聴取」について、取組が前に進んでいることをうれしく思う。ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスの解消は非常に難しい問題ではあるが、各部局で引き続き取組を推進していただきたい。

こども・子育て推進本部員 一覧

職名
知事 [本部長]
副知事 [副本部長]
知事公室長
総務部長(総務部次長代理出席)
南部東部振興監(美しい南部東部振興課長代理出席)
危機管理監(知事公室次長(防災担当)代理出席)
地域創造部長
こども・女性局長
こども・女性局次長
福祉医療部長
医療・介護保険局長
医療政策局長
産業部長(欠席)
産業部次長
県土マネジメント部長
まちづくり推進局長
教育長
教育次長
警察本部長